

# 各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

3 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	国語
グループ名、人数	5グループ 8名		担当教員	◎内藤 奥山	
ねらい	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語（日本教育研究出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	言葉の使い方 敬語 接続詞	11	○職場を設定した敬語を使う。 ▲状況に応じた敬語や接続詞を使い分けることができる。	・文型を用いる。	
6	お礼状を書く	8	○お礼状の書き方を学ぶ。 ▲季節の挨拶や定型文を使うことができる。	・時候の挨拶や、定型文をワークシートで学習する。	
7 9	本の紹介 POPづくり	10	○自分の好きな本を紹介する。 ▲内容を要約したり、おすすめの理由をまとめたりできる。	・書き方の例を提示する。	
10	話の要点を聞き取る 質問と答え	8	○大切な情報を正確に聞き取る。 ▲聞き取った情報を、要点を絞ってメモすることができる。	・聞き取った内容は、質問形式で回答できるようにする。	
11 12	作文を書く	15	○自分が体験したことを文章で表現する。 ▲順序良く書くことができる。	・5W1Hや、時系列を意識して書けるような下書きを行う。	
1	百人一首	9	○歴史的仮名遣いや言葉の意味を知り、気に入った歌を読む。 ▲古典に興味をもち、百人一首を楽しむことができる。	・写真やイラストなど、句の情景がイメージできるような資料を提示する。	
2 3	手紙の書き方	9	○お世話になった人へ手紙を書く。 ▲丁寧な言葉で書くことができたか。	・文例や構成の例を提示する。	
通年	漢字・語句、音読(詩など)、熟語	通年	○漢字等の読み書き。 ▲一人一人に応じた読み書きができる。 ○仲間と一緒に音読することができる。 ▲言葉の抑揚や間の取り方が工夫できる。	・身近な文章等に使われている漢字や語句を学習に取り上げる。 ・強弱が分かりやすいように印をつけるなどする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	社会
グループ名、人数	5グループ8名		担当教員	◎横井、野瀬	
ねらい	(1) 国民生活や社会参加するためのきまり、公共施設の役割を理解する。 (2) 国内外の様々な地域、出来事に関心をもつ。 (3) 学習したことを生かし、社会に主体的に関わろうとする態度を養う。				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10	日本の地形と災害	3	○日本の地形の特徴や地震災害への備えについて知る。 ▲災害への備えについて、考えることができる。	・カードゲームなど、興味・関心がもてるように工夫する。 ・ICT機器を活用する。	
11	我が国の地理や歴史	3	○日本の各地域の特色、文化、歴史について調べる。 ▲調べるにあたり、地図やICT機器を活用することができる。	・映像教材や写真、古地図などを提示して、学習内容に興味を引き付けられるようにする。	
12	日本の地理	3	○都道府県名と場所、特色を知る ▲白地図に都道府県名を書き込んだり、写真を見て特色を理解したりする。	・白地図への書き込み、写真の貼り付けなど、自分で操作しながらワークシートを完成させられるようにする。	
1	社会参加と民主主義	3	○選挙や投票の仕組み、ルール、意義について知る。 ▲選挙の意味や実施方法、ルール等が理解する。	・導入では生徒会役員選挙など身近な題材から始め、親しみをもって取り組めるように工夫する。	
2 3	日本と世界のつながり	5	○日本の国勢、世界で起きている様々な問題に関心をもつ。 ▲私たちの生活に、世界の様々な国が関係し、支えられていることに気付くことができる。	・新聞記事やニュース映像を用いることで、世界で起きている出来事に関心をもてるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	数学
グループ名、人数	5グループ 8名		担当教員	◎小幡 奥山(水) 川上(金)	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 (2) 日常の事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (3) 数学の楽しさを実感し、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学(日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	数と計算 (いろいろな 計算) 数学的活動 (買い物) (ゲーム)	通年	○計算のワークシートに取り組む。 ○カードゲームなど、複数で協力して推理する問題に取り組む。 ▲意欲的に計算やゲームに取り組んでいる。	・支援が必要な生徒には個別に対応する。 ・主体的に取り組むことができる教材を選択する。	
4 5	量と大きさ	11	○生活の中で使われているいろいろな単位について確認しながら覚える。 ▲学んだことを活かし、身近な具体物から容量や大きさを読み取ることができる。	・生活で実際に活用できるように、場面をイメージさせながら取り組む。	
6 7	長さと重さ	14	○身近なものに使われている単位を理解する。 ▲正しい単位を選択することができる。	・単位と具体物を実際にマッチングできるようにイラストや具体物を活用する。	
9	図形 (平面図形) (立体図形)	7	○様々な図形の名称や特徴を覚える。 ▲基本的な図形の構成要素に関心をもち、身近なものに目を向けることができる。	・身近な具体物を活用し、図形の理解を深められるようにする。	
10	資料の整理 (データの活用)	7	○身の回りの事柄に関するデータを読み取ることができる。 ▲いろいろな資料に関心をもち、データから読み取った情報を言葉や文字で伝えることができる。	・色を付けたり、文字を変えたりするなど、視覚的に理解しやすいよう工夫する。	
11 12	時計と時刻 ・時間の計算 ・時刻表 ・時間と距離	14	○それぞれの現場実習先の様子や交通機関など、具体的な例を使って時間の計算をし、その後ワークシートにて様々な場合について練習する。 ▲簡単な時間の計算や日にちの計算が正しくできる。	・必要に応じて電車の時刻表やICT端末を活用して実生活に関連付ける。	
1 2 3	金銭と買い物	17	○日常生活に必要な買い物と金銭 ▲金額の大きさを比べ、お釣りの金額が分かる。 ▲小計や合計金額の計算手順が分かる。	・食品や喫茶、余暇に関わる値段や支出を扱い、具体的にイメージできるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	理科
グループ名、人数	5グループ 8名		担当教員	◎奈良本	
ねらい	(1) 自然・健康や安全に関わる身近な事象について基本的な理解を図る。 (2) 観察や体験的な活動をとおして、必要な行動を判断する力を養う。 (3) 日常生活に結び付け、健康で安全な生活を送ろうとする態度を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	人の体のつくりと健康	4	○体のつくりや呼吸、消化、循環などの働きに着目し、生命を維持するために体がどのように働いているのかを調べる活動を行う。また、睡眠や運動、食事などの生活行動と体の働きとの関係について理解を深める。 ▲人の体のおおまかなつくりや働きについて理解し、健康な生活を送るために必要な行動に気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓の拍動や呼吸の様子を実際に感じ取る活動を取り入れる。</li> <li>・ICT機器を活用し、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・保健体育と関連付け、生活場面に即した具体例を用いて指導する。</li> </ul>	
	生活習慣と予防	5	○水分補給、衛生、体温調節など、健康を保つために必要な生活習慣について学び、病気や体調不良を予防するための行動について考える。 ▲健康を保つための生活習慣や予防行動について理解し、日常生活の中で実践しようとする態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を用いて説明する。</li> <li>・写真や動画を用いて行動を比較する。</li> <li>・家庭科や保健体育での学習と関連付け、自分の生活を振り返る活動を取り入れる。</li> </ul>	
7 9	けがの防止と応急的な対応	5	○けがが起きたときの体の様子を知り、安全に行動することの大切さや、けがをした際取るべき基本的な対応について学ぶ。 ▲危険な場面や適切な行動について理解し、自分や周囲の安全を守る行動を取ろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真を用いて具体的に考えさせる。</li> <li>・応急処置の様子を動画で確認する。</li> <li>・「自分で判断せず大人に知らせる」ことを繰り返し確認する。</li> </ul>	
	災害と身を守る行動	4	○地震や火災などの災害について知り、災害発生時に起こる現象や、命を守るために取るべき行動について理解する。 ▲災害時の危険に気付き、身を守るために必要な行動を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を視聴し、災害の様子を具体的に理解させる。</li> <li>・実際の動きを交えて指導する。</li> <li>・ICT機器を使用し、避難行動を視覚的に分かりやすく示す。</li> </ul>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	音楽
グループ名、人数	5・6グループ16名		担当教員	◎矢島、奈良本、星野	
ねらい	(1) 曲想や背景など音楽の多様性について理解するとともに、必要な音楽表現の技能(歌唱、器楽、創作等)を身に付ける。 (2) 音楽を自分なりに評価しながら、美しい曲や好きな曲を味わって聴くことができる。 (3) 主体的・協働的に取り組み、音楽文化を親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間		使用教科書	くらしに役立つ音楽「東洋館出版社」	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞「生演奏」 共通教材 「早春賦」 「荒城の月」	通年	○姿勢や発声法を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気付き、発声をする。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲自分なりの言葉で感想を述べる ことができる。	・発声のしやすいリズムや旋律を伴奏や模範歌唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現 「ソーラン節」	26	○楽曲の快活なテンポを感じながら、表現することができる。 ▲音楽を聴いて、拍に合わせて、身体を動かそうとしている。 ○伝統的な奏法で、間や序破急(速度の緩急、強弱)を表現する。 ▲伝統的な奏法を意識して演奏することができる。 ○楽譜上の音楽記号を読み取り、歌唱表現に活かすことができる。 ▲楽譜上の音楽記号に注目しながら、歌おうとしている。	・テンポを意識できるように、教員が拍をとる。 ・鉦や伴奏を活用し、リズムにのって演奏できるように支援する。 ・歌唱前に、楽譜上に書かれている音楽記号について学ぶ時間を設定する。	
5	器楽 「和太鼓」				
6	歌唱 「合唱曲」				
7					
9	器楽 「合奏」	26	○有音程の楽器と合わせ、打楽器等も活用し、アンサンブルをする。 ▲楽器の奏法を理解し、楽譜を見て自分で演奏することができる。 ○テンポやリズムを意識して、歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・生徒の実態に合わせて色、表形式などの楽譜を使用する。 ・視聴覚機器を用いてイメージをもちやすくする。	
10					
11	歌唱・身体表現 「文化祭の歌・ボディーパーカッション」				
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	18	○合唱の楽しさを感じ取り、声の重なりを意識して歌う。 ▲ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・視聴覚機器で映像を使用し、合唱のイメージをつかみやすくする。	
2	「国歌」				
3					

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	美術
グループ名、人数	5・6グループ 16名		担当教員	◎佐藤、牧野、村上	
ねらい	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 前向きに美術的活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	<p>○作品を生活の中で生かす。</p> <p>▲作品を介したコミュニケーションができる。</p> <p>○自己表現の体験を積み重ね、表出することに対する自信を高める。</p> <p>▲造形活動に主体的に取り組める</p> <p>○自他の作品の価値に気づく。</p> <p>▲個々の作品の違いや良さを感じられる。</p>	<p>・制作を介して人と関わり、作品を生かせる場をつくる。</p> <p>・繰り返し行える活動にするなど、主体的に行えるように工夫する。</p>	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	<p>○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。</p> <p>▲制作活動に興味関心をもち、活動に主体的に参加できる。</p>	<p>・成功体験を通し、活動に意欲的に向かえるようにする。</p>	
9	ICT 機器を使った情報収集と利用	8	<p>○ICT 機器を利用した情報の収集と共有、作品制作。</p> <p>▲集めた情報の管理・活用できる。</p> <p>▲情報の適切な扱い方を学ぶことができる。</p>	<p>・操作方法を動画などで分かりやすく提示する。</p> <p>・反復し技術習得できるようにする。</p>	
	絵画制作	14	<p>○キャンバスに描く。</p> <p>▲自分の興味関心を、独自のデザインで表すことができる。</p> <p>▲描画方法を選択して制作できる。</p>	<p>・デザインや制作方法を選択しやすいよう、素材の提案をする。</p>	
10 11 12	文化祭に向けた取り組み	14	<p>○文化祭舞台道具を制作する。</p> <p>▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。</p>	<p>・発表の内容を授業で伝えることで、行事への理解につなげる。</p>	
	立体制作	14	<p>○粘土や羊毛等を使った羊の制作。</p> <p>▲説明を見聞きし制作に取り組むことができる。</p> <p>▲完成形や動きなどをイメージしながら制作に取り組むことができる。</p>	<p>・制作工程をイメージできる動画などを提示する。</p>	
1 2 3	卒業記念制作	16	<p>○記念作品を作る。</p> <p>▲使うことを意識して制作できる。</p> <p>▲掲示を見て、準備や手順を理解して制作することができる。</p>	<p>・手順が分かりやすいよう視覚教材を充実させる。</p> <p>・道具を選択しやすく配置する。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	5・6グループ16名		担当教員	◎村上 野瀬	
ねらい	(1) 運動を通して、運動技能を高めると共に、体力の向上を図る。 (2) 集団行動を通してルールを守り、友達と運動を楽しむ気持ちを養う。 (3) 体と心の知識を深め、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ 保健体育		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	体づくり運動	通年	○ヨガ、ストレッチ運動、体幹トレーニング等 ○集団行動 ▲特性に応じた動きをしている。	・動きごとに、キーワードを提示して、合理的に動けるようにする。	
前 期	保健	2	○心身の健康について ▲ストレスマネジメントや疾病について学び、日常生活に生かすことができる。 ▲疾病について、予防方法を考えることができる。	・チェックシートを用いる。 ・具体例を挙げ、自分の生活に結び付けられるようにする。	
後 期	保健	2	○性被害・性加害について ▲卒業後の生活に向けて具体的な対策を考えている。	・事例を基にロールプレイを実施して確認できるようにする	
4 5	陸上競技	11	○短距離走 ▲短距離走の決まりを守り、自己の力を発揮することができる。	・カラーコーンや色ラインでコースを分かりやすくする。	
5 6	新体力テスト	8	○新体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げ) ▲自己の体力の状態を理解し、改善のための方策を考えている。	・各テスト項目の動きのポイントを提示し、適切に測定できるようにする。	
6 7	水泳	20	○水泳(蹴伸び、キック、4泳法) ▲身体を大きく動かし、合理的な泳ぎができています。	・測定の機会を随時設定し、泳力の向上を実感できるようにする。	
9 10	器械運動	15	○マット運動・跳び箱・平均台 ▲滑らかに動いている。技をつないで演技を構成できる。	・滑らかに動いているか、動画で確認し修正できるようにする。	
10 11 12	球技	20	○ゴール型(サッカー・バスケットボール) ▲球技の決まりや簡単なルールを守り、自主的に運動ができる。	・コート大きさやボールの大きさなど、生徒の実態に応じて適切な環境設定を行う。	
1	陸上競技	12	○長距離走 ▲記録向上に向けて工夫して走っている。	・毎回本人が目標設定し、自己評価できるようにする。	
2	球技	12	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジャスチャー等で伝える。	
3	武道	3	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼儀作法や所作など、基本的な動きができる。	・DVDを活用して視覚的に示す。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	職業
グループ名、人数	5グループ 8名		担当教員	◎野瀬	
ねらい	(1) 就労に必要なビジネスマナーとコミュニケーション能力を身に付ける。 (2) 就職活動や福祉サービス、生活設計に関する知識や技能を身につける。 (3) 自己理解を深め、将来設計を具体的にしていく。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる新・ビジネスマナー集		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	ビジネスマナーとコミュニケーション	通年	○挨拶、自己紹介 ○身だしなみの整え方 ○就労に必要な挨拶、報告、連絡、相談の仕方を身に付ける。 ▲挨拶や仕事に必要な報告・連絡・相談を自ら行うことができたか。	・繰り返しの取り組み、定着を図る。 ・適切な報告や相談のタイミングや伝え方を示し、実践を促す。	
4 5	オリエンテーション 現場実習事前学習	6	○職業の授業や進路行事を知る。 ▲ワークシート記入で見通しをもてたか。 ○実習生資料について ▲「自分の強み・苦手」を考えられたか。 ○日誌の作成 ▲目標、評価の記入の仕方を理解したか。	・ワークシートで卒業までの進路行事を示す。 ・「ICF」「リフレーミング」で自己理解を図る ・実際の日誌や評価表を活用する。	
6	福祉サービス	4	○進路先選択に必要な福祉事業所等についての情報(種類や仕事内容等)を知る。 ▲福祉事業所情報を知ることができたか。	・ICT機器、LLブックを活用し、福祉事業所情報などを見る。	
7	生活設計について①	2	○生活設計-相談・お金・暮らし-について相談できるところを知る。 ▲生活設計の相談先を学べたか。 ▲福祉課訪問の準備ができたか。	・ICTを活用し、福祉課等でできることを学ぶ。	
9	進路先選択	3	○進路先選択の条件について考える。 ▲選択の条件について考えられたか。	・マトリクスを使って、進路先選択してみる。	
10	生活設計について②～⑥	4	○生活設計-お金・暮らし- ▲給料・工賃の使い方を学べたか。 ▲グループホームや通勤寮、一人暮らし等について考えられたか。 ○生活設計-趣味・学び・楽しみ- ▲仲間の余暇や楽しみを知り、考えたか。	・ICTを活用し、情報収集する。 ・写真やビデオ等で様子を具体的にイメージできるようにする。 ・コピーングで「楽しみ」の情報を集める。	
11	私の応援団	4	○相談支援事業所、就労支援センターについて学ぶ。 ▲卒業後の相談先を知ることができたか。	・ICT、資料などで相談先があることを学ぶ。	
12 1	私の将来設計	7	○将来設計(4つの四角)について考える。 ▲4つの領域をまとめられたか。	・これまでの学習内容をワークシート(4つの四角)に入れ込み、将来設計をまとめる。 ※ゲストティーチャーの活用	
2 3	「移行計画」をつくる	5	○これまでの学習をまとめ「移行計画」をつくる。 ▲学習内容を振り返り、「移行計画」にまとめられたか。	・これまでの学習内容をワークシート(4つの四角)から、移行計画をつくる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	家庭
グループ名、人数	5・6グループ 16名		担当教員	◎阿部・佐藤・渡邊・奈良本	
ねらい	(1) 家庭の機能についての理解を深め生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図る (2) 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考える力を養う。 (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考える実践的な態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド<改訂版>		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度、準備、片付け、清掃	通年	○身支度、準備、片付け、清掃、ゴミ捨てをする。 ▲身支度や安全な道具の使い方、ゴミ捨てができる。	・準備、片付け、掃除の手順表を絵や写真で分かりやすく掲示する。	
4	利エンテーション 消費生活・環境 「契約と約束の違い」「いろいろな支払い方法」	6	○自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 ○購入方法や支払い方法の違い。 ▲いろいろな金銭の支払い方があることについて理解する。	・ICT 機器など活用し、分かりやすく提示する。	
5	日用品の制作 「スウェーデン刺繍」	8	○被服室の使い方。 ▲ルールや安全な使い方を知る。 ○スウェーデン刺繍の練習。 ▲丁寧に刺繍に取り組む。	・見本を示し具体的に伝える ・縫い方や縫う方向等、印をつけて示す。	
6	日用品の制作 「ランチトートバック」	8	○スウェーデン刺繍を行う。 ▲丁寧に刺繍ができる。	・実際に正しい方法を師範する。	
7		4	○手順にそってランチトートバックを作る。 ▲丁寧に刺繍ができる。	・縫う方向等、印をつけて示す。	
9		8	○手順にそってランチトートバックを作る。 ▲手順を確認しながらミシンで縫製できる。 ○ミシンを使って作品を作る。 ▲ミシンで直線縫いができる。	・実際に正しい方法を師範し手順を分かりやすく示す。 ・縫う方向等、印をつけて示す。	
10	日常食の調理 「電子レンジを使った調理」 「レトルト食品を使った調理」 冷凍食品でつくるお弁当	8	○レトルト食品や冷凍食品、電子レンジを使った料理をする。 ▲道具を安全に使って調理することができる。 ○電子レンジの使い方を知る。 ▲電子レンジの安全な使い方ができる。	・写真付き手順表や動画等を活用し分かりやすく提示する。 ・動画等を通し、危険性について触れる。	
11		8			
12		6			
1		8			
2		2			
2 3	消費生活・環境 「消費者の基本的な権利」	4	○自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。 ○購入方法や支払い方法の違い。 ▲いろいろな金銭の支払い方があることについて理解する。	・消費生活センターと連携して具体的な事例を挙げる。 ・教室内で買い物場面を設定し、金銭模型を用いて買い物の経験をする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	特別活動（ホームルーム）
グループ名、人数		各学級 60名		担当教員	各学級担任
ねらい		(1) 自分たちで考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	高等部の学校生活を楽しもう	3	○学年オリエンテーション （高3の授業や行事を知る） ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲高3の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択したりする。		・視聴覚機器を使用したプレゼンテーションを用いるなど、それぞれの生徒の障害特性や発達の状況に合わせて理解が促せるよう、教材を工夫する。
5 ～ 3	学級で活動しよう	20	○学級活動（体育祭、現場実習、文化祭などの活動の理解と準備、反省） ▲活動に見通しをもつことができる。 ▲自分の意志や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。		・視聴覚教材を利用して活動内容の理解を促す。 ・選択肢を示し、意見や意思を表出しやすくする。 ・ICT機器を利用する。
9	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。		・視聴覚教材を利用してイメージがもてるよう促す。 ・ICT機器を活用する。
7 12 3	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えることができる。 ▲意見を発表したり選択したりすることができる。 ▲自分の役割を果たす。		・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な活動になるよう促す。
3	3年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動の反省 ▲自分について振り返り、他者の良い点に気付くことができる。		・行事や学習場面の写真や映像等を振り返り、自己評価、他者評価ができるよう促す。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S 類型 41名	担当教員	S 類型担任		
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身のことを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶 返事  身辺処理 着替え  衛生 健康管理  朝の会 帰りの会  日直  係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる。 ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身に付けられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる。 ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認することで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。  ・要所で言葉掛けを行い身に付ける。 ・継続して指導する。  ・場所を固定し動線を分かりやすくする。  ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。  ・定着するよう、継続して取り組む。  ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数	S・O類型 57名		担当教員	B, C, D, E, F, G, H, I 組担任	
ねらい	(1) 社会人になるための準備として様々なことを経験する。 (2) 行事の内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書			
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	3年生になって	2	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	2	○体育祭の事前・事後学習 ▲内容に見通しをもって活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。	・体育の学習と関連をもたせて指導する。	
5 6 7	世界の国を知ろう	7	○外国の行事や文化に触れる (ALTによる学習) ○ALTの母国であるアイルランドの文化や言語などについて学び、国際社会への理解と関心を高める。 ○アイルランドを含む5か国を選び、国旗や言語、食文化、日本とのつながりを調べる。 ▲外国人講師と交流する。 ▲国名と国旗を一致できる。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
9 10	現場実習を成功させよう	8	○現場実習先の名称、場所、内容を知る ○実習先での言葉遣いや態度、マナーなどを学ぶ ▲自分のできたことや課題を理解し、今後の学校生活に活かす。	・事後学習で本人と成果や課題を明らかにし、家庭と連携する。 ・ICT機器を用いる。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭事前・事後学習 ○劇において演技や台詞で表現する。 ▲自分の役を意識し、表現する。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや、達成感を味わう。	・得意なことを活かした活動に取り組む。 ・皆で協力してひとつのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2	校外学習に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解する。 ・ICT機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
3	社会人になる準備をしよう。	4	○3年生を送る会 ○卒業式事前練習 ▲卒業という節目を意識する。 ▲感謝の気持ちと新たな出発を決意する。	・門出のことばや歌の練習を繰り返し行い、自信をもって臨めるように支援する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	60名		担当教員	3年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。  ・情報  ・日本と世界 ・スポーツ  ・芸術(音楽) ・芸術(美術)	4	<b>【すべてのグループ】</b> ・ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	・生活に必要な身近な情報を調べる。 ・自然や日常生活をテーマに情報機器を使用して、動画など制作物にまとめる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3			
9		3	・日本や世界の文化、地域のお祭りや伝統の遊びなどを調べる。体験する。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	・ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など		
11		4	・美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
12		3		・自分の作品を紹介したり、友達の良い作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
2		3	▲問題意識あるいは興味・関心を持ち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		1	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班13名		担当教員	◎川上、高橋、大石、保谷、三國、渡邊、横井、大野	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体を使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認 挨拶、返事、報告 体操 準備、片付け、清掃、 報告会	通年	○出席確認、挨拶、返事、報告、体操、準備、片付け、清掃 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・言葉の表出が難しい場合は、VOCA 機器を利用する。 ・イラストや写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4 ～ 3 月	紙工作業	245	○紙工作業（マグネットなどの製品作り） ▲ラミネートはがし、紙干し、紙ちぎりの工程に継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせ、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の職員や利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。 ▲挨拶・報告ができる。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班9名		担当教員	◎牧野 奈良本	岸 小幡/矢島
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書			なし
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点			指導の工夫
通年	職業生活	通年	○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談の練習 ▲「できました」「確認お願いします」等 が言える。			・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。
4 5	オリエンテーション	15	○作業学習のねらいを知る。 ○作業学習の心構えを理解する。 ▲ねらいや心がまえ、手順、作業工程を理解できる。			・繰り返し言葉で伝える。 ・視覚的に分かりやすく示す。
	現場実習について	15	○現場実習のねらいを知る。 ▲ねらいを知り心構えをする。			
6 7 9 10 11 12 1 2	クラフト作業販売	200	【木工作业】 ○材料の加工と切断 ○組立、整形、塗装、仕上げ 【革工作业】 ○革の染色 【紙工作业】 ○紙の切断と張り子作り ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業する事ができる。 ▲作業スピードを意識して正確に作業する事ができる。			・視覚的にわかりやすく示す。 ・毎時間の作業量や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分で作業を行えるようにする。 ・毎時間、ねらいの確認と作業の評価を行い、作業日誌に残す。 ・販売予定数や売り上げ数などを明確に数字で示し、作業意欲や態度の向上、効率的な製作につなげる。
	現場実習		○現場実習において1～2週間働くことを体験する。 ▲指示どおりに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。			
3	作業学習のまとめ	15	○自己評価と課題の整理 ▲挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行うことができる。 ▲時間を守り、準備や片付けを積極的に行うことができる。 ▲就労に適した態度・言葉遣いが意識できる。			・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		農園芸班 11名		担当教員	◎村上、野瀬、内藤、佐藤、菅原
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	5	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・写真や動画、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理 ・野菜の栽培 馬鈴薯、ナス、トマト、蚕豆、ピーマン等 秋冬野菜の栽培 大根、蕪、ブロッコリー、白菜等 ・草花栽培、マリーゴールド、パンジー、ビオラ等、バジル等、ハーブ類 ・野菜の販売準備及び販売	240	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき、苗作り ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 9名		担当教員	◎敦賀 阿部	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	18	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程を理解して実践できる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真や動画を使用し手説明する。 ・繰り返しの取り組みで定着を促す。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	68	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を自主的に準備できる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、確認と報告をしながら作業をする。 ・正確に計量できるように確認と報告を促す。 ・大体の量を視覚的に分かるように提示する。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	57	○紙袋作り、紙箱作りなど ▲自分の分担作業を順序通りに取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	文化祭準備 ポスター作製 看板づくり	28	○ポスター作製・看板づくり ▲文化祭に向けて、イメージを固め、集中して取り組む。	・ICT を活用し、文化祭ポスターを作成する。	
12 1 2	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	65	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲衛生に配慮してパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭のパターンを覚える。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	9	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて就労への意欲につなげる。	